

H9-3-20
於 旭丘公民館

H8年度 旭混声合唱団 総会

1. 活動報告 19:00~19:30
- (1) 一年間の活動報告 (主運営面) — 団長
 - (2) 技術委員会報告 (主音楽面) — 技術委員長
 - (3) 会計報告 — 会計
 - (4) 新年度への提言 (広報NO51) 役員会

2. 協議事項 19:30~20:30
- (1) 報告に関する質疑
 - (2) 演奏会について
 - (3) 指揮者・ヒヤーストへの謝礼について
 - (4) 団費について
 - (5) 夜学課外報告 23名にアンケートをとり、その結果、17名が回答 80%は肯定的な意見

3. 役員改選 20:30~21:00
- 団長

副団長

技術委員長

会計(正)

〃 (副)

不本義明

不本恵美子

早沢 信昭

中畑 千代子

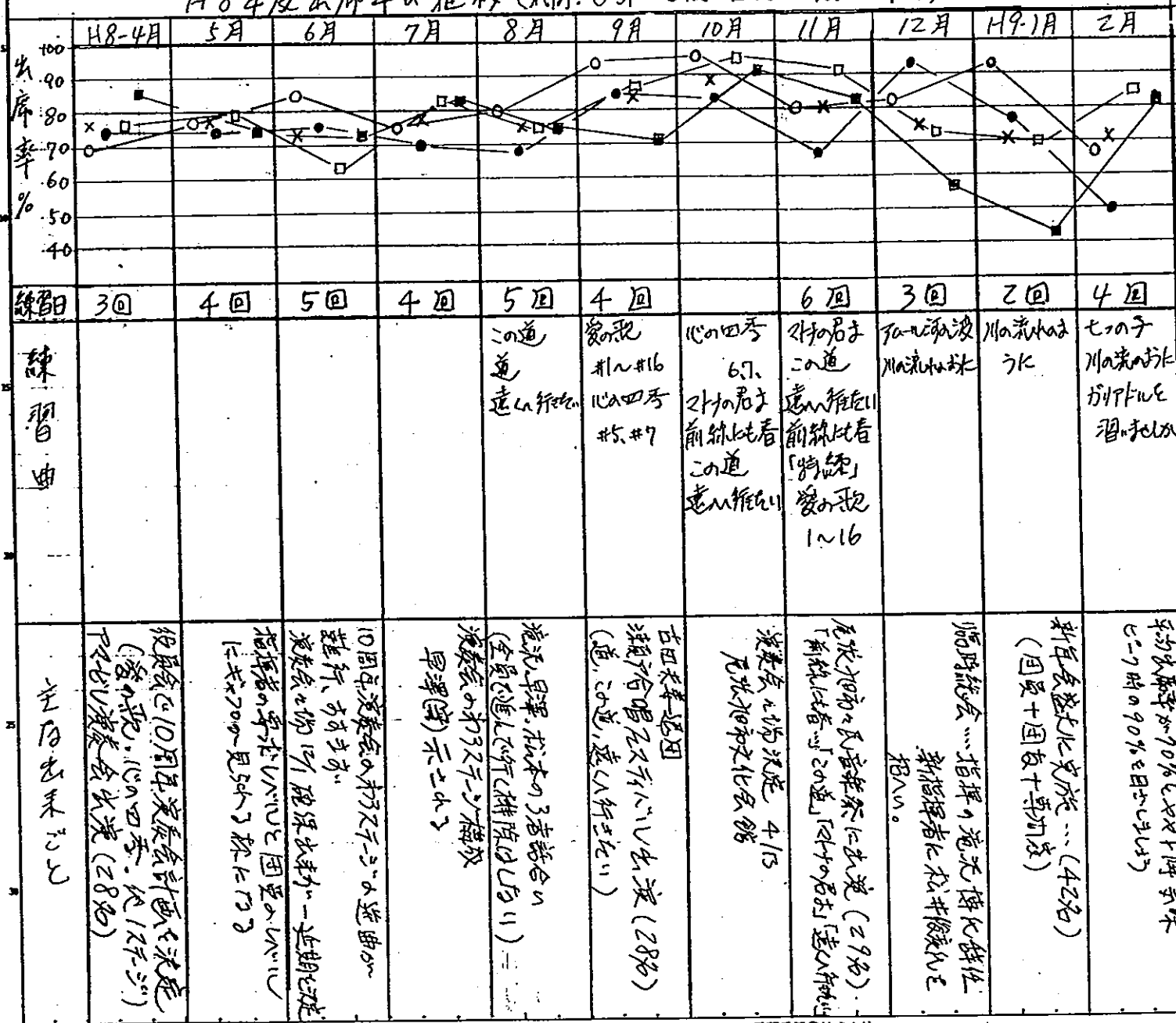
大栗 耐子

新役員

4. 新旧役員のお礼 21:00~21:10
5. 優秀団員の表彰 21:10~21:30

瀬戸合唱団 H8年度 活動総括(運営面)

H8年度出席率の推移 (凡例: ○ SP ● AR □ TR ■ Ba × 平均)



この一年間を振り返るには

4月: アニバーサリーコンサートに出席 EX含む28名
始まる名前を覚えて、700の音楽家との演奏
等々、緊張感、心、四季、5曲、続
つた。演奏内容も好評で、チケットの取扱
面でも120人分を売り、自然と深めた。

5月: 総会
10周年演奏会を決定... 12月日迄
1ステージ: アニバーサリー「愛の歌」
2ステージ: 高田三郎「心の四角」
3ステージ: アニバーサリー(曲日未定)

6月: 練習「愛の歌」「心の四角」主体で惜
して「アニバーサリー」の道曲進めたが、難行
演奏会の日程との関係で、国内におきか
一部に生かされた

7月: 「アニバーサリー」の構成(案)が出来た、本決りに至る

8月: 練習の徹底に個人、比喩、色合い、演奏
指揮者: 団員で話し合い、一時的な
が、周囲から改善された

9月: 瀬戸合唱団スピンオフ出演 EX含む28名
「道」「この道」「遠い行」の3曲を歌う
このステージは最後に創立メンバーの朗読、退
演奏会に接して、衝撃と感動。このステージは
指揮者と団員の間に、生かされてきた。

10月: 演奏会の日程場所を決定
H9-4月13日 尾張市市民文化会館

11月: 尾張市市民音楽祭に出演 EX含む29名
「この道」「2つの前線は春」「前線は春」
技術的、課題と戦った、このステージは
ステージとなった。...

12月: 臨時総会... 指揮者松井俊彦氏就任
明子、市、合唱、5分、17、重要に指導

1月: 新年会に42名の参加... 新年会出席

平成9年3月20日

この1年を振り返って

技術委員長

1 選曲について

(1) 前半

この1年、前指揮者の強い意向によりブラームスの愛の歌を中心に取り組んだ。

団員の多くが外国語アレルギーに陥っていることは十分承知していたが、指揮者の狙い、即ち高度な音楽へ挑戦する、ということも決して悪いことではないという気持ちもあって強く反対することは避けた。特に、世代を超えた名曲を演奏することは貴重な経験となり得るとも考えた(外国語の歌は、団員にとってかなりの負担になることから、出来れば避けて欲しいがあえて取り組むというなら、練習を進めるうえで相当の苦勞を伴うであろうことを覚悟して欲しいと申し上げたが)。しかしながら、このことが結果的に混乱の原因となったことは、大変残念であるとともに技術委員長として責任を感じている。

また、他の原因としては、発音の正確性にこだわりすぎたこともあげられるのではないかと思う。これが音楽を楽しむという、合唱に参加する本来の目的からますます遠ざけたのではないか。

今後は、この反省を生かして行きたいと思う。

なお、ブラームスのこの曲は100年を経た今にいたるまで歌い継がれてきたものだけに、これに取り組んだことは決して無意味ではなかったと思う。そのため、一部の曲については今後何等かの形で発表する機会を考えたい。

(2) 後半

指揮者の交代後は、松井先生の意向に沿ってア・カ・ペラに取り組んだ。

その狙いは以下の理由による。

即ち、旭混声は超一流のピアニストを擁していることから、従来から伴奏つきの曲を中心に取り組んできた。その結果、ピアノに頼りすぎて一人ひとりが確実に音程を確保するという姿勢があまり見られなかったし、他のパートをよく聴いて自分のパートを歌うという意識に欠けていたからである。

その結果、「gagliarda」や「七つの子」が選ばれ、あわせて、曲そのものを楽しむために「川の流れるように」が選ばれた。

イタリア語に対する違和感があったことは否めないが、以前のような嫌悪感を抱かせるような発音への固執はなかったこともあり、むしろ名曲のもつハーモニイの美しさや楽しさを感じたのではないかと思う。

2 練習の内容について

これまで、指揮者は違えど注意されたことはほぼ変わりはない。

即ち、

(1) ビブラートを無くせ

- (2) テンポが少しずつ遅れる
 - (3) 歌い出しが揃わない
 - (4) プレスのしかたが悪い
 - (5) もっと明るい声を出せ
 - (6) 時々地声が聞こえる
 - (7) 喉を締めない
 - (8) 口のなかを広く、舌を柔らかく
 - (9) リズムを正確に
- というようなことであつた。

3 今後の方向性

音楽は「音を楽」しむものであつて、「音が苦」であつてはならない。

しかし、楽しくさえあれば何の努力もしなくていい訳ではない。レベルが上がれば、また新しい楽しみを味わうことが出来る。その楽しみを得るために、前記の注意を少しでも受けずに済むよう努力していきたい。

次に、声が悪いとかリズム音痴であるとかを苦にする必要もない。

声がよく、音程もよく、リズム感もよいという人はいない。逆に、声、音程、リズムの三つとも悪いという人もいないものだ。それぞれは、何かの取り柄はあるものだからその長所をだしあつて他人の短所を補つてハーモニイを造りあげることこそ合唱の醍醐味でもあると思う。

三つ目は、隣の人の音程やリズムがずれていた場合のように、本人が気が付いていないことは教えてあげよう。その際、注意しなければならないことは、相手のためを思つて言うのであつて決して自分のために言つてはならないということです。気配りは忘れずにいたいものです。

以 上

指揮者 8,000 1/20 現在
伴奏者 6,000

平成8年度 会計報告

旭 混声合唱団 (9、3、20現在)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越	17,801円	指揮者謝礼	378,000円
団費(3,000円×356名)	1,068,000	伴奏者謝礼	294,000
入会金(500円×4名)	2,000	会場費	134,580
楽譜代	19,250	楽譜代	21,835
77-77 入会取消し	3,000	77-77 入会金	3,000
カンパ	4,500	瀬戸フェスティバル参加費	5,000
預金利息	142	打上費 (77-77 手振 2500円×6名)	15,000
合計	1,114,693	事務費	4,571
(団費内訳)	4月 31名 10月 31名 5月 30名 11月 30名 6月 31名 12月 26名 7月 31名 1月 25名 8月 29名 2月 32名 9月 30名 3月 30名 延 356名	雑費 (譜面台、生花不足分)	3,257
		小計	859,243
		次年度繰越	
		現金	105,308
		預金	150,142
		小計	255,450
		合計	1,114,693

77-77 11/17
5000円

○ ただし、3月分謝礼(指揮者40,000円、伴奏者30,000円)は、3月末支払い予定です。

上記のとおり報告します。

平成9年3月20日 会計： 中畑チズ子



会計監査： 林 松 男



○ 工事は完了したけれど、お金のことはまだ、

○ 工事は完了したけれど、お金のことはまだ、

○ 借入! 4月から 3000円 + 1000円。
○ 返済 7000円。

役員改選

会長 = 松本

○ かしこい人 - 944円 + 14円。

21日

○ 明日には正確に匯金したと連絡が入る。

お礼のメール。

工事は完了したけれど、お金のことはまだ、

● 第14 年度 工 業 局 下 記 各 科 長 官 等 へ 送 付 。